

見どころ案内

ヒガンバナ

(ヒガンバナ科)

花の進化園、日本庭園のヒガンバナが咲き始めました。彼岸を代表する植物です。

展示会のご案内

◇展示資料館 1F (9/19~10/14)

私の好きな花たちの写真展

◇展示温室 (9/28~10/14)

サボテン展

トゲオニソテツ (ザミア科)

南アフリカ原産。雌雄異株。手前の雌株にはラグビーボール状の鮮やかな朱色の雌球果が付いています。奥には雄株があります。

アングラエカム

エブルネウム

ロンギカルカー (ラン科)

マダガスカル原産。とても長い距(蜜を溜める部位)がひときわ目立ちます。ハート型の唇弁も特徴的です。天気の良い夜間には甘い香りが立ち込めます。その匂いに誘われてやってくる長い口吻(こうぶん)をもつ蛾が吸蜜する際に受粉します。

ハイビスカス アーノツ

ティアヌス (アオイ科)

白い花弁と赤い花柱のコントラストが美しいハワイ原産のハイビスカス。暑さが和らぎ、花が増えてきました。

ハウキグサ (ヒユ科)

緑色のボールのようですが、秋が深まるにつれて赤く紅葉します。和名のハウキグサは、昔この茎を乾燥させてほうきを作ったことにちなみます。別名ハウキギ、コキアともいいます。

なお、この実を加工したものが、畑のキャビアと呼ばれる「とんぶり」になります。

フジバカマ (キク科)

秋の七草の一つ。淡い赤紫色の花が咲いています。環境省準絶滅危惧種(NT)。園芸店で販売されているものはほとんど雑種です。9月末にはアサギマダラ(渡り蝶)が見られるかも。

ハナセンナ (マメ科)

ハナセンナはアンデスの乙女とも呼ばれ、黄色い花が咲いています。葉には殺菌成分が含まれており、石鹸やシャンプーなどに使用されています。

クランベリー (ツツジ科)

ツルコケモモのなかまです。サクランボのようなかわいらしい実が鈴なりについています。酸味が強いので生食には向かず、ジャムやソースなどに加工されます。

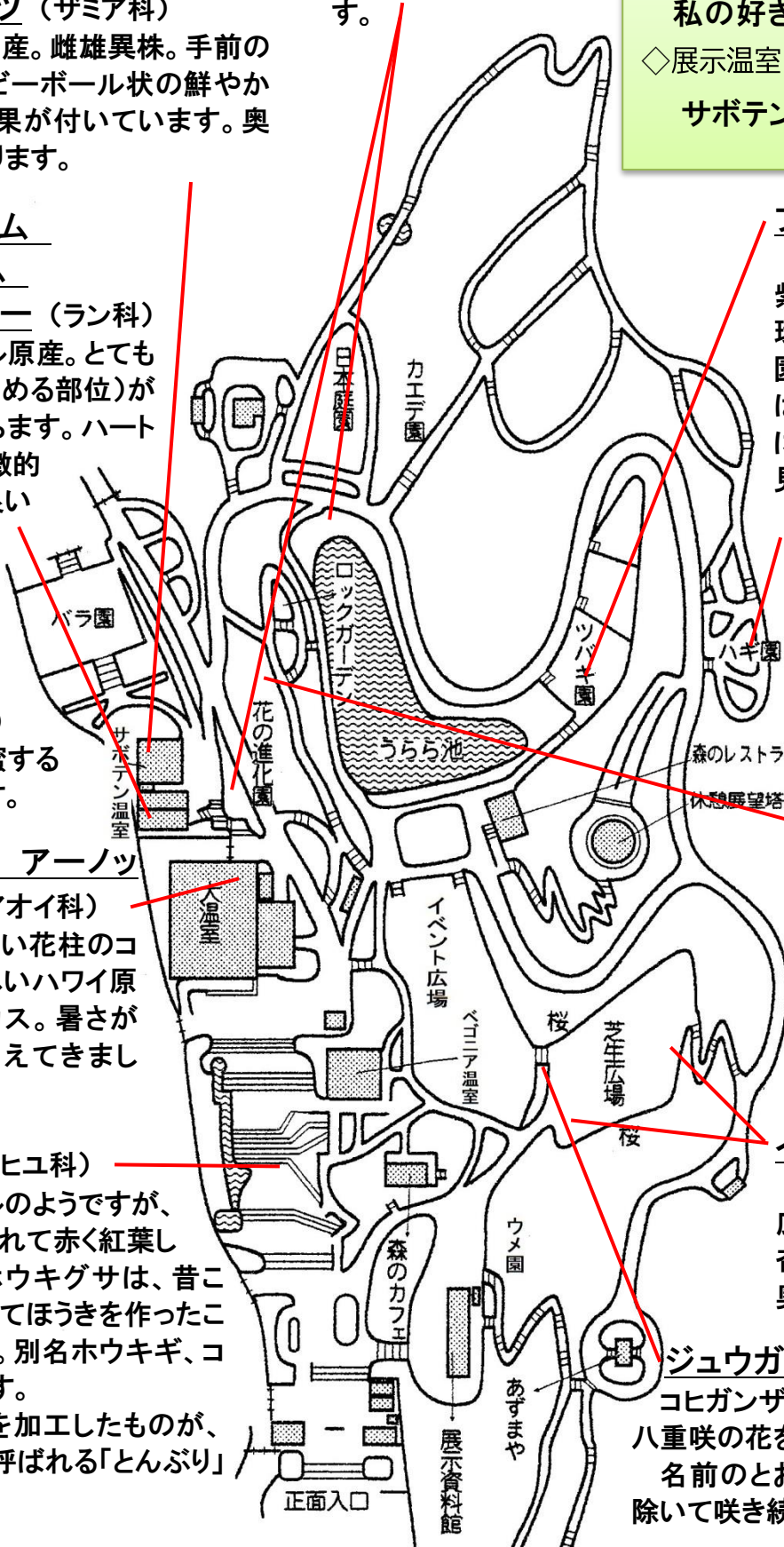
イチヨウ (イチヨウ科)

中国原産。雌雄異株。芝生広場の手前に雌株があり、銀杏がなっています。芝生広場奥には雄株があります。

ジュウガツザクラ (バラ科)

コヒガンザクラの園芸品種で、淡紅色で八重咲の花を咲かせます。

名前のとおり秋口から春まで厳冬期を除いて咲き続けます。



♣毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します♣

♣毎月第2火曜日・第4土曜日 午前11時~は、職員による植物うんちくガイドを実施します♣